



【習字の部】

応募対象は小学生。題材は低学年が「みず」、高学年が「水道週間」。大きさは半紙とする。

【図画の部】

応募対象は小中学生。題材は水道に関するもので標語は入れない。大きさはA2判からB5判程度とする。

【作文の部】

応募対象は小中学生。題材は水道に関する自由な作文。小学校低学年は800字以上、同高学年は1200字以上、中学

# 地域の誇りと住民の思い 飯田市の取り組みも紹介

サブタイトルは「地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす」。本書は人（高齢者と若者）、食、労働などで地域づくりに取り組みする全国各地を取材し、地方を元気にする活動を紹介している。

著者は食に関する取り組みを行う地域を訪れて感じることをして、活力があつてその土地でまわる経済の仕組みをつくり、内外の人と活発に交流し、地場産物の売上げを上げていく所には共通項があるという。経済の低下、農業の衰退を憂慮する意見に対し、自らしっかりと取り組みてきた所には若者もいるし、高齢者の働く場や生きがいも生まれ、小さくても経済が動いていると言いつつ、一度はどんな底を経験していても、だ。

内容は3部構成。第1部は今あるものを磨いていく山形県鶴岡市などを紹介。第2部はユニークな地元を発信する山口県萩市ほかを取り上げた。そして第3部は「人と人をつなぐ、農村と都市



## 金丸弘美・著 「幸福な田舎のつくり方」 (学芸出版社)

をつなぐ」と題し、地産地消や産直、農家連携などをピックアップ。最終章には飯田市の取り組みが登場する。

独自のグリーンツーリズム（農家民泊や自然体験）について千代、千栄、今田平などで行っているプログラムを取材している。改めて、独特にして貴重な活動であることが実感できるだろう。

長野県をヨム  
〈ジモトヲシル〉

